

第5回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和4年9月27日(火) 午後3時00分から午後4時20分まで
会場	新潟市民プラザ(NEXT21 6階)
出席者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">委員</div> <p> 日野浦委員、玉木委員、高橋(誠)委員、川端委員、高田委員、山田委員、 遠藤委員、青山委員、樋口委員、中野委員、若槻委員、大竹委員、 斉藤委員、吉岡委員、三國委員、影山委員、飯田委員、田中(雅)委員、 宮本委員、佐藤委員、阿部委員、小沢委員、池委員、小川委員、 田邊委員、西潟委員、梶委員、高橋(勝)委員、松川委員、桐生委員、 北川委員、若木委員 出席32名 欠席6名 (梅川委員、高橋(直)委員、松山委員、田中(鈴)委員、知野委員、清野委員) </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">事務局・説明者</div> <p> [新潟市教育委員会] 中央図書館長補佐、教育支援センター所長 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長補佐、保健課長、 建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐 </p>
議事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会議の成立について 委員38名中32名出席のため、規定により会議は成立 <p>2 議事(議長=佐藤会長)</p> <p>(議長)</p> <p>皆さん、こんにちは。本日もよろしくお願ひします。</p> <p>次第をご覧になってください。今日は、議事が1件、報告が2件その他、そして閉会です。いつもと違って、委員からの議事提案に基づく討議が今回はありません。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、1時間程度で終了させようということで、なしとなっています。</p> <p>(1) 新潟市国民保護協議会委員の推薦について(資料 議1)</p> <p>(議長)</p>

最初の議事に入ります。「議事(1)新潟市国民保護協議会委員の推薦について」です。資料議1をご覧ください。内容を読みます。

さて、新潟市国民保護協議会の委員につきましては、別添「新潟市国民保護協議会委員及び幹事名簿」のとおりご就任いただいているところですが、本年8月31日をもって任期満了となります。つきましては、引き続き貴自治協議会からご就任賜りたく、別紙1「新潟市国民保護協議会委員推薦届」により適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

要するに、国民保護法に関する委員を推薦してくださいということなのです。国民保護法というのは、周りの国とかが日本に対して武力行使をした場合、国は国民を守る義務があるという法律です。

まず、立候補する人はこの中にいらっしゃいますか。

いらっしゃらないようなので、皆さんから、推薦していただきたいのですが、どなたかいらっしゃいますか。

(高橋(誠)委員)

入舟地区コミュニティ協議会の高橋です。

私が前任だったのですけれども、警察の諮問機関である中央警察署協議会の委員であり、中央防犯協会連合会の、私が会長なのですけれども、副会長もやっておられる、それから、防災、防犯が関係する第3部会の部会長である川端さんをぜひ推薦したいと思えます。

(議 長)

ありがとうございます。川端さん、今推薦されたのですけれどもどうでしょうか。

(川端委員)

裏面の5番のところに女性の参画促進ということがありまして、積極的に女性の適任者を推薦していただきたいという文書もあるのですが、ご指名であれば務めて参りたいと思えます。

(議 長)

ありがとうございます。

皆さんも、よろしいですか。ありがとうございます。

川端さんを推薦ということになりました。皆さん、どうもありがとうございました。川端さん、よろしく願います。

3 報告

――自治協議会委員活動報告――

(1) 委員からの報告について

(議 長)

続きまして、報告に入ります。

1つ目が新潟市総合計画審議会第2部会です。北川さん、報告をお願いします。

(北川委員)

公募委員の北川です。よろしくお願いいたします。

私から、第1回から第3回までになりますが、新潟市総合計画審議会第2部会（経済活力・交流促進）ということについてお話したいと思います。

なぜ第2部会かという、新潟市総合計画の基本計画を私たち審議委員が話し合うことになっているのですが、それが八つの分野に分かれています。私が所属するのが経済活力・交流促進の第2部会なので、そのお話をしたいと思います。

また、内容について、本来であれば、新潟市総合計画の素案を皆さんで見ながらお話するのが一番いいと思うのですが、なかなか難しいというところで、新潟市のホームページに載っておりますので、ぜひ皆さん、目を通していただきたいと思います。また、会議の内容は、私から大まかなところはお話しますが、細かい点については時間がなかなか難しいということで、こちらもホームページに記載してありますので、ご確認いただきたいと思います。

報告いたします。開催日時、会場、出席委員については、記載のとおりとなります。

(1) 部会長選出と職務代行者の指名ということで、こちらも記載のとおり選任されております。

(2) 審議内容の説明なのですけれども、私たち、この場でどのようなことが議論されるかといいますと、先ほど申し上げた基本計画に関して、素案に載っている文言に関して、具体的に見直したり提案したりする場なのです。ですから、(3)に審議と書いてありますけれども、ここが私たちの腕の見せ所と言いましょか、審議委員が発言できる場の部分となります。

(2) 審議内容の説明ということで、これは基本計画の政策9の部分となります。「都市と田園の調和を活かした持続可能な農林水産業の実現」の基本的方向について。儲かる農業の実現と、持続可能な農林水産業を目指す。新潟は、日本で最大の水田面積を誇り、農業産出額もトップクラスということで、都市と田園の調和と地域コミュニティを創出するというので、この「田園」を押していくという説明がありました。

また、新潟市の現状と課題について、農業分野は原油高やコスト高など、外部環境に影響されやすい分野でありまして、高齢化や後継者不足が深刻であるという報告がありました。この部分で、資料の説明があったのですが、令和2年の農林水産省のデータで、今後の5年間で後継者が確保できていますかという問いに、「いません」と答えた新潟市の農業に携わる方が80パーセントいたそうです。また、スマート農業の加速化や

林業水産業への対策も必要であるということです。では、解決するためにということで、施策1と2があります。

施策1は、売れる米作りと園芸産地づくりの推進ということで、細かい点はこの下の部分をご覧になっていただければと思います。施策2としましては、農林水産業を活かしたまちづくりということで、コミュニティ活力の創出や環境整備などがあげられています。

各員からの主な意見として、次のような意見が出されました。

例えば、儲かる農業のイメージが分かるような記載を加えてはどうかというような意見がありました。では、儲かる農業というのはどういう農業なのかというところで、農林水産部長から発言があったのですけれども、農業が職業として選ばれる、また、所得が確保されているということなのではないかということで、パブリックコメントでも、農業は逆に儲からないイメージがつくのではないかとということで、儲かる農業という表現に関しては、少し工夫を加えてはどうかという意見がありました。

また、将来を見据えた課題として、日本の人口減少による需要の減少、海外の人口増などを踏まえたグローバルな観点から記載を追記してはどうかということで、海外への販売強化の方向に関して文言を加えてはどうかというような意見がありました。

その他の意見は、恐れ入りますが時間の関係で割愛させていただきます。

今、お話ししました各委員からの主な意見なのですけれども、今後、こういった答申というものにまとめられまして、こちらで修正後の素案を12月の議会に諮って議決をされ、新潟市総合計画というものが策定されるという流れになります。

続きまして、第2回の新潟市総合計画審議会第2部会の報告をいたします。

開催日時、会場、出席委員は記載のとおりです。

(1) 審議内容の説明として、この日は政策8、「地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出」について話し合われました。新事業の創出やDXの支援、企業誘致や創業支援を通じて、企業の稼ぐ力を高め、地域経済に活力を生み出して、市民所得の向上を目指す、市の担当者より説明がありました。

そして、現状と課題について、とにかく市民所得を向上されるために、中小企業の稼ぐ力を高めて市内総生産を改善することが大事だということと、人口減少に伴って労働生産性の低下があるので、それを防いで、事業継承の促進を図ることなどが話されました。

その問題を解決するための施策としまして、1、2、3ということで提示がありました。施策1について、地域の企業の持続的発展に向けた経営支援ということで、多様化や複雑化する企業の経営課題の解決に向けて、新潟市IPC財団などがありますけれども、そういったところを通じてセミナーやコンサルティング事業などを支援するという話がありました。施策2としましては、地域経済の活性化に資する新たなビジネスの創出支援ということで、起業や創業をしやすい環境づくりと、新規事業の創出を支援する、スタートアップやオープンイノベーションなどの促進という話がありました。施策3に

ついて、誰もが生き生きと働ける環境づくりということで、雇用面に対して改善を図るという話がありました。

最後に審議に移りまして、各委員からの主な意見となります。1番目の地域内経済循環は、政策8にありました「地域経済に活力を生み出す産業の振興と雇用の創出」という部分だけで語るのではなくて、産業・交流という分野の中で生み出すことが重要ではないかというような意見がありました。裏のページですけれども、新潟市の現状と将来を見据えた課題、多様な人材活躍において、若者の転出超過解消への取組みをもっと具体的に記載してはどうかという意見がありました。

続きまして、第3回の新潟市総合計画審議会第2部会の報告をいたします。

開催日時、会場、出席委員は記載のとおりです。

この日は、政策10と政策11について審議がありました。

政策10は、「魅力と拠点性を活かした交流の促進」についてです。ポストコロナに適した観光スタイルを構築し、観光需要の回復と拡大を推進する。姉妹都市などと交流を図ることで信頼関係を強化し、国際都市としての発展を目指す。こちらを踏まえて、現状と課題について、新潟市は国内外の都市と、空の便ですとか駅で結ばれておりますので、拠点性の強化と交流人口による経済効果が重要であるという話がありました。そこで、施策1、新潟の魅力と優れた拠点性を活かした交流人口の拡大ということで、おもてなし態勢を強化して、新潟のイメージをよくして、新潟ならではの魅力向上に努める、また、国際会議等の誘致を推進するという話がありました。施策2、世界とつながる国際交流の推進ということで、市民レベルでのグローバル・パートナーシップの活性化を図るという話がありました。

続きまして政策11、「新潟暮らしの魅力発信と移住・定住の促進」について話がありました。コロナ禍のテレワークの普及によって地域移住への関心が高まっている中で、新潟の暮らしやすさを発信して、新潟はいいところだよということで目を向けてもらいましょうということです。それを踏まえて、新潟市の現状と課題というところで、新潟市内の企業は認知度が低いために、まず知ってもらうということで、Uターン希望者増加を目指し、若者に、例えば企業紹介などを積極的に行うということです。ここでの施策1は、多様な支援による移住・定住の促進、関係人口の創出ということで、これまでも行ってきていますけれども、SNSを通じてもっと新潟の魅力を発信しようということが説明されました。

続いて審議に入りました。各委員からの主な意見ということで、前半でお話しました施策10、「魅力と拠点性を活かした交流の促進」について、新潟ならではの文化として、そのページに古町芸妓を例示しているので、一緒に各区の地域資源についてもいくつか具体例を記載してはどうかとか、不特定多数の人に情報発信をしても、おそらく引かかる率は低いから、新潟市に縁がある方たちにアピールしていくことは効果的ではないかと、具体的イメージが沸くように表現を工夫してはどうかというような意見が出ました。

また、最後のところになりますけれども、政策 11 の部分については、有給インターンシップをはじめとした就労促進の要素ももう少し取り入れてはどうかとか、政策指標において、もっと具体的にフィードバックできるような指標を検討してはどうかというような意見が委員から出ました。

私からの報告は以上です。

(議 長)

ありがとうございました。今、総合計画について会議の報告があったのですが、皆さんから、今の報告に対して質問、意見等はございますでしょうか。

(松川委員)

鉄道・公共交通研究家の松川です。

いくつか伺いたいのですけれども、よろしいでしょうか。

この審議会はあと何回くらいあるのか。最終的にまとめて、議会に出すのがいつなのかをお伺いしたいのと、パブリックコメントを募集しているということなのですが、私も委員が、意見があれば、北川さんを通じて言っていただくことはできるのか、お伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

(北川委員)

ありがとうございます。

今回は第 3 回まで報告したのですが、実は第 4 回第 2 部会がもう今月のはじめに行われております。明後日は、第 2 回の全体会があります。スケジュールとしては、全体会で、先ほど申し上げました答申を採択しまして、そこで承認されますと、それを基に、市の方で素案を修正されて、12 月の議会に諮って、承認されれば、新潟市総合計画として皆さんに公表されるという流れになります。

例えば今日聞いた意見を、直接、新潟市総合計画に反映されるかどうかというご質問については残念ながらもう第 2 部会も終わっておりますので、もう明後日に全体会を開いて答申案に対して採択するという状況にありますので、現段階で、計画に反映させるということはできないのです。

私も公募委員としてこれまでこちらの自治協議会に参加させていただいて、皆さんのいろいろな意見を聞いて、非常にいい意見が多いと思っています。その辺は中央区長に預けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(区 長)

皆様のご意見を全体にできるだけ反映するように、本庁とのやり取りとして活用させていただきたいと思います。

(北川委員)

もう一つ、パブリックコメントのお話が出たのですけれども、パブリックコメントも締切がありまして、50件集まったと聞いております。いい意見もたくさんありまして、計画に反映されるものは反映させて、みんなでつくっていこうと話がありましたので、ぜひ期待していただきたいと思います。

ご質問ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございます。松川さん、よろしいでしょうか。

ほかに何かありますか。よろしいですか。

では私から。今、反映されるかどうか分からないという話だったのですけれども、少しアピールしたほうがいいのではないかとところが若干あったので、少し発言させてもらいます。

まず報1-1、7月7日のことに関しては、米のことが書いてあるのですけれども、米とその加工品の販売拡大とかをもう少し大きく表示したほうがいいのではないかと。何しろ新潟は米ばかりなので、その辺をもう少しアピールしたほうがいいのではないかと思いました。

報1-2、7月25日のものに関して、私は一つ抜けていることがあると思います。何かと言うと、既存の中小企業の経営力の強化です。それから、円滑な事業承継の推進など強く盛り込んだほうがいいのではないかと思いました。

報1-3に関しては、せっかくラムサールの都市承認を受けたので、自然と都市が融合、調和したすばらしい都市だということをもう少しアピールしたほうがいいのではないかと思いました。

以上です。

(樋口委員)

関屋小学校区コミュニティ協議会の樋口です。

今、佐藤会長が少しコメントされましたので、私からもひと言。

実際に新潟市総合計画に反映されるということではないのですが、今報告いただきました報1-3の審議内容のところで、魅力と拠点性を活かした交流の促進という項目がありました。確かに新潟市は国内外の都市と航空路や新幹線で結ばれて、拠点性の強化ということがうたわれてきているため、日本海経済圏で拠点としての機能を果たせるような機構があってもいいのではないかとと思います。

(議長)

ありがとうございます。今、樋口さんからも意見が出ましたけれども、一応、中央区自治協議会からこれらの意見が出たということをお伝え願えばいいのではないかと考えております。よろしく申し上げます。

②信濃川やすらぎ堤利用調整協議会（資料 報2）

（議 長）

次は、信濃川やすらぎ堤利用調整協議会です。宮本さん、よろしくお願いします。

（宮本委員）

南万代地区コミュニティ協議会の宮本と申します。

信濃川やすらぎ堤利用調整協議会の報告をいたします。資料報2をご覧ください。

第21回信濃川やすらぎ堤利用調整協議会、日時は9月5日、午後4時から5時の間にありました。会場は信濃川やすらぎ堤に現在設置しております貸会議場スペースのアウトドアミーティングの場で行われました。出席者は書いてあるとおりです。

主な議事内容としましては、「(1) ミズベリング信濃川やすらぎ堤の実施状況について」、スノーピークから途中報告がありました。まだ継続中ですので、途中報告です。今年は雨と猛暑に左右され、6月、7月のイベントは12件実施、2件の中止。新規イベントのウォーキングは、やすらぎ堤と近くの町を歩く催し物で、6月19日、7月16日、8月6日の3回実施しましたが、新型コロナウイルス感染症のために定員を控えて募集しましたが、すぐに満員となって、大変好評でした。スマートクルーズ、レンタサイクルの利用なのですが、暑かったため、参加者は5名でした。それから水辺アウトドアミーティングは10件の利用でした。キッチンカーは雨天と車両の故障で半分ほどの36件の実施に終わりました。水辺体験キャンプの参加は30名でした。また、水辺SUPは、スタンドアップパドルボードという立ち漕ぎボートのことですが、その体験教室を新潟まつりの事業の中で9回は無料で実施し、56名の参加がありました。残念なことに、有料では2回で8名と少し減少しました。このSUPは他の船が起こす波に影響されやすいのですが、会議のあった9月5日現在では、波が起きることによってのトラブルなどは報告されていないということでした。

その他としまして、萬代橋誕生祭と大河津分水通水100年と関屋分水通水50周年の記念イベントが8月27日、28日の両日に同時開催されたという報告を受けました。会場は萬代橋周辺で、オープニングセレモニーのほかに、万代太鼓、音楽ステージやパネル展示、ワークショップ、シェアバイクの紹介、関屋分水のウォーターシャトル50周年記念の特別運行があり、けっこう人気があったようです。そのほかに、ライブや分水とか萬代橋の歴史などを船の上で説明する船上ガイドなどの催し物でした。

以上です。次の開催は今のところ決まっておりません。

（議 長）

ありがとうございました。今の報告に対しまして、質問、意見等ございますでしょうか。

(高橋 (誠) 委員)

入舟地区コミュニティ協議会の高橋です。

最後のほうに萬代橋誕生祭で船上ガイドということで少しありましたので、私からPRです。実は、この船上ガイドをやっていたのは私で、今回は、プレジャーボートで実施しました。毎年やっていますので、ぜひ、来年もやっていたら委員の皆様も乗っていただいて、新潟市をPRしていただきたいと思います。

(議 長)

ありがとうございました。ぜひ、来年と言わず、10年、20年とずっとアピールしてください。ほかに何かありますでしょうか。

(若木委員)

公募委員の若木でございます。

ミズベリングについてなのですが、私はよく信濃川でジョギングをしているのです。ミズベリングをやっている所が、一応、信濃川対岸とか橋から見えるのですが、正直なところそばまで行かないと分からない。もう少し、市をあげてやるのであれば、ちゃんと公告とか旗を立てるとか、そういった形で分かるようにしていただくといいのではないかと思います。PR不足だと思います。

ぜひ、もっと力を入れてPRしていただきたいと思います。

(議 長)

ありがとうございました。もっと分かりやすくPRしてくださいということです。いかがでしょうか。

(宮本委員)

反省会のお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

(議 長)

ありがとうございました。若木さん、よろしいでしょうか。ありがとうございました。ほかによろしいでしょうか。宮本さん、どうもありがとうございました。

(2) 部会からの報告について

①第1部会 (資料報 3-1)

(議 長)

次に入ります。(2)の部会からの報告についてです。まず第1部会、中野部会長からよろしくお願いいたします。

(中野委員)

第1部会長の中野でございます。鳥屋野校区コミュニティ協議会です。

報告が3回分あります。その前に皆さんにお礼を申し上げたいと思います。「にいがた2kmガチャ」のイベントをやる上でクイズが必要なので、先般、クイズを募集したところ、委員と委員以外、一般市民の方を含めまして、全部で136件のクイズの応募がございました。お礼を申し上げたいと思います。それから皆さんに、当日のスタッフ、第1部会だけではどうしても人手が足りませんので、ご協力を依頼したところ、委員の皆さんから10名の方からご協力いただくということになりましたので、この場を借りてまずお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

8月4日は報3-1-1です。出席委員等はご覧のとおりでございます。

「にいがた2kmガチャ」イベントの実施に向けて、担当をそれぞれ班ごとに分けまして進めてまいりました。駅前のガチャの設置場所については、事務局から、バスターミナルの前の案内所の前の広場を考えているという説明がありました。

それぞれの担当ごとに打ち合わせを行いました。最初に広報担当でございますが、皆さんのところにもお配りしましたチラシにも描かれているキャラクターは、日本アニメ・マンガ専門学校に依頼し、作成していただきました。広報につきましては、今度、中央区だよりでイベントの広報を行うということにいたしました。今度の日曜日、10月2日発行の中央区だよりに載りますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

ガチャ・クイズ担当でございますが、段ボールとペットボトルでガチャの箱を作ることによって進めてまいりました。8月26日、有志で対策室に集まって、ガチャの箱を作りました。それぞれ皆さん、各自持ち帰って、絵を描いたり装飾を施したりすることになりました。

当日スタッフの募集については、8月の自治協議会全体会議で配布するということに決めたのですが、全体会議はお休みということになりましたので、別途郵送して、皆さんからご協力いただくということになりました。当日必要な椅子、テーブル、テント、看板といったものは、それぞれレンタルしようということに方針を決めました。

景品につきましては、缶バッジのほかにTシャツ、その他も用意しようということに決めました。

次の9月6日、報3-1-2でございます。これも対策室で、ご覧のメンバーで打ち合わせをいたしました。

「にいがた2kmガチャラリー」ということで、それぞれ担当に分かれてやりました。イベントの名称でございますが、皆さんにお配りしたチラシにもあります。「にいがた2kmガチャラリー」ということになりました。当日のスタッフの募集につきましても、事務局から報告がありました。

それぞれ担当ごとに打ち合わせをして、報告をして、また意見交換ということですが、まず広報担当につきましては、キャラクターデザインの意見交換をしました。

ガチャ・クイズ担当ですが、段ボールガチャの準備状況を確認し、各自持ち帰りました。本日の会議までに事務局へ持ってきてもらうということにいたしました。ガチャの箱は22箱できました。全部使うわけではございませんが、予備も含めて作りました。ガチャの中にクイズを入れるカプセルですけれども、500個近く集めました。クイズは136件応募があったということをお話ししましたが、そのうち、中身を精査して絞り、80件くらいに整理いたしました。現在、事務局でも精査しているところでございます。クイズは、1問ずつ印刷してカプセルの中に折りたたんで詰めることにいたしました。新潟駅会場は駅周辺の問題、古町は古町周辺の問題ということにすることにいたしました。参加者につきましては、自分のカプセルの中の問題1件だけではなくて、一覧も配って、こんなクイズもあるよということで、場合によっては、現地へ行って確かめてきてほしいというような意味で、配るということにいたしました。

当日担当でございます。当日のタイムスケジュール、会場レイアウトにつきまして、事務局から原案を作っていただきまして、それを基に意見交換いたしました。タイムスケジュールなども決定いたしました。

景品につきましては、3会場、全て巡った方には、スペシャルガチャを回してもらって、缶バッジのほかに、オリジナルグッズをプレゼントすることにいたしました。チラシにもございますけれども、Tシャツ、エコバッグ、ステッカーということで検討いたしました。

次が9月13日でございます。報3-1-3でございます。対策室で行いました。出席者はご覧のとおりでございます。

この日は区ビジョンまちづくり計画の素案について、1時間ほど事務局から説明を受けて話し合い、意見交換をいたしました。委員から、区ビジョンのまちづくり体系図については、大分類と中分類に分けることで分かりにくくなってはいないかななどの意見がございました。事務局から、具体的な意見、修正案をそれぞれ出していただくよう、説明がございました。

今年度、次年度の特色ある区づくり予算「区役所企画事業」についての説明を受けました。柱は「にいがた2km」の8区連携の古町周辺まちなか活性化事業でございます。古町ルフルを活用する旨の説明がございました。それから、「にいがた2km」の8区連携でシェアサイクルの活用事業についての説明がございました。また、みなとまち新潟伝統的産業PR事業についての説明がございました。

メインの「にいがた2kmガチャラリー」のことでございますけれども、チラシの校正について意見交換を行いまして、A4で3,000枚を印刷することになりました。ポスターにつきましては、B2サイズで100枚、キャラクターの等身大パネルは3体、それぞれの会場に一つずつ設置するという決まりました。また、当日スケジュール、マニュアルの確認や意見交換を行いました。椅子、テーブル、テント、スタッフの配置、

時間割りを決定いたしました。景品も決定いたしまして、缶バッジにつきましては8色で1,000個、オリジナルイラスト付きTシャツ30着、オリジナルエコバッグ100枚、キャラクターシール300枚ということに決まり、ほぼ準備ができたところでございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。質疑に関しましては、第4部会まで終わりましたら一括でお受けしますので、お願いします。

続きまして第2部会です。本日は高橋部会長がお休みですので、山田副部会長から報告をお願いします。

(山田委員)

第2部会の説明をいたします。資料報3-2-1をご覧ください。

日時、令和4年9月9日、時間と会場、出席委員については記載のとおりです。

まず、「今年度および次年度の特色ある区づくり予算『区役所企画事業』について」。地域課より、今年度実施している「しもまち地域活性化事業」について説明がありました。委員より、地域、中学生と連携し、地元へ愛着を持てる事業でいいと思う。SNSの閲覧数が記載されたが、この数字は多いのかとか、この事業の効果はあったのかとの質問があり、それについての回答はそこに記載されているとおりです。この「しもまち地域活性化事業」は今年度で区切りを付けるが、地域とのかかわりはこれからも続いていくので、今回の取組みについてしっかり評価したうえで、次年度以降、新たな視点で課題解決に向け、区の特色を活かした事業展開を図っていきたいということでした。

健康福祉課所管の事業については、予算調整中のため、11月以降の説明予定ということでした。

次に、「議題(2) 市民提案型事業募集について」です。徘徊模擬訓練に向けて、9月28日、明日なのですけれども、本番スケジュールの確認を行い、参加される方の役割分担を行いました。その事業の終了後に事業実施団体から提出してもらった報告様式についての内容を検討いたしました。

次に第6回、資料報3-2-2をご覧ください。

令和4年9月15日、時間と会場、出席者は記載のとおりです。

「議題(1) 区ビジョンまちづくり計画(素案)について」。事務局より、区ビジョンまちづくり計画(素案)について説明がありました。委員より、以下のような質問、意見がありました。文章が多いので、読みやすいように工夫してはどうか。分かりにくい言葉などは、本文中に()で説明文を入れてはどうかなど、意見がございました。その他、意見がある方は9月27日までに意見書を事務局まで提出することとなりました。

以上、報告です。

(議 長)

ありがとうございました。

続きまして、第3部会の川端部会長、よろしくお願いします。

(川端委員)

第3部会、鏡淵小学校区コミュニティ協議会の川端と申します。よろしくお願いいたします。第3部会の活動についてご報告いたします。資料番号報3-3をご覧ください。

日時から事務局までに関しては、記載のとおりです。

まず1つ目、区ビジョンまちづくり計画(素案)の提示に基づく意見ですけれども、代表的な意見を紹介します。同じ言葉で異なる表記を使用しているケースがあります。その場合には、理由を明確にすべきではないかということ。それから、先ほども第2部会でありましたけれども、文章が非常に多くて読みづらい部分もあるので、絵や写真を多く使ったほうがよいのではないかというような意見がございました。

2番目です。区役所の企画事業についてですけれども、意見として、やはり体験要素が加わるといいのではないかと。フォトコンテストなどでも、例えば祭りをテーマに取り上げてみたりするといいのではないかと。それから、これは実際の体験に基づいてなのですが、「えんでこ」に参加してみて、非常に丁寧でユーモアのあるガイドがとてもよかったというような意見がありました。

3番目です。第3部会で今行っている「新潟市中央区市民アンケート調査票」の報告書についてです。委託業者をお願いしながら集計、分析を進めているところですが、特に私たちが一番中身として力点を置いていた、「中央区の魅力を発信するとしたら、どのようなテーマや内容で発信しますか」。もう一つは、「中央区がどのようなまちになるといいと思いますか」。この2つについて、かなり多くの自由記載が出てきているのですけれども、この結果を基にして、今後の取組みについて最終ゴールに向かって、重点分野を捉えていくということになりました。

その他ですが、西区の取組みについて情報共有いたしました。

(議 長)

川端部会長、どうもありがとうございました。

続きまして、第4部会です。高橋部会長、よろしくお願いします。

(高橋(誠)委員)

第4部会、入舟地区コミュニティ協議会の高橋です。よろしくお願いします。資料報3-4をご覧くださいと思います。

日時は9月15日。

議題(1)なのですけれども、意見があったのは特に③やすらぎ堤アクティビティ事

業についてなのですけれども、ランニングする方への運動靴やシャワールームの貸出しというのは地元の人たちが使わないのではないかという意見がありまして、県内、県外の方にもっとSNS等でPRしたほうがいいのかという意見がありました。

(2) 空き家活用事例の取材報告なのですけれども、西堀にありますギャラリーの「蔵織」さん、しもまち地域にありますジェラートの店「エフケーメゾン」さん、附船町にあります地域の茶の間の「えがお」の3件を取材しました。3件のリーダーの方々が、インタビューして、動画にしました。動画の作成においては、第4部会のアドバイザーでありますクリエイティブディレクターの平田さんから動画を撮っていただきました。私が素人ながら、パソコンでオープニング、エンディング、コメント、セリフ、音楽などをつけまして、その動画を皆さんと共有して、意見や修正案を提出していただくことを宿題としています。

(3) ゴールイメージということなのですけれども、動画とチラシの作成について、各委員から提案がありまして、市のホームページに載せる、各コミュニティ協議会にDVDを配布する、ホームページで動画を見られるようPRのチラシを作るというような意見もありました。

(4) 区ビジョンにつきましては、54件の意見があり、資料を事前配布したことが皆さんの意見を聴取することに変効果的であったとの意見がありました。

(議 長)

端的に報告していただき、どうもありがとうございます。第1部会から第4部会まで全て報告が終わりましたので、この報告に対して質問、意見等ございますでしょうか。

よろしいですか。

これで報告を終わらせていただきます。

4 その他

(議 長)

4番のその他、区役所からのお知らせです。地域課の大倉地域課長、よろしくお願ひします。

(地域課長)

地域課長の大倉でございます。ご協力のお願いとイベントのご案内を2点させていただきます。

はじめに、お手元に本日配布いたしました見開きA3カラーの「新潟シティマラソン2022の交通規制のお知らせ」をご覧ください。皆様、既にご存じかと思っておりますけれども、来月10月9日、日曜日に、本市の一大スポーツイベントであります新潟シティマ

ラソンが4年ぶりに開催されます。このお知らせの中央下のほうに「START」と記載してあります場所がデンカビッグスワンスタジアムとなりますけれども、このスタジアム前を朝8時30分にスタートしまして、鳥屋野潟、信濃川、萬代橋、日本海沿岸といったような新潟市らしい水辺の景色ですとか、万代シティ榎谷小路といった「にいがた2km」周辺の中心市街地を望みながら、ちょうど中央に「FINISH」と書いてある新潟市陸上競技場を目指します。このイベントの実施に伴いまして、お配りしたこの資料のとおり、当日8時ころから16時ころまで、大規模な交通規制が実施されます。交通規制の時間帯にコース区間や周辺を通るバス運行路線につきましては、迂回運行や運行時間の変更等がございます。詳しくは新潟交通のホームページをご確認ください。また、通行可能な周辺道路も、混雑や渋滞が予想されますので、お出かけを予定されている方につきましては、ご注意くださいようお願いいたします。

皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、新潟シティマラソンの開催に温かいご理解とご協力をお願いいたします。

交通規制に関するお問い合わせにつきましては、このチラシの右下に、オレンジ色で囲まれた下に、新潟シティマラソン交通規制コールセンターという記載がありますけれども、こちらにお問い合わせください。

続きまして、黄色の2つ折りのリーフレット、「ニイガタニキロニュース」をご覧ください。このリーフレットは、「にいがた2km」周辺で主に10月、11月に開催されるイベントを集めたリーフレットです。第1部会の事業であります「にいがた2kmガチャラリー」をはじめとした、「にいがた2km」を楽しめるイベントが盛りだくさんに記載されています。今回お知らせしたいのは、「Event 3」と書いてあります「にいがた2km 食花マルシェ」です。10月8日から10月9日に開催されるのですが、8区の特徴ある農産物や加工品の販売、地域と連携した取組みの紹介など、食と花の魅力を一堂に集めてPRするイベントとなっております。中央区のブースでは、昔ながらの醸造文化が今も息づく発酵のまちであります沼垂から、沼垂ビールに出店していただいておりますので、ぜひ皆さん、足を運んでいただければと思っております。

(議長)

ありがとうございました。今、大倉地域課長からお知らせ、説明していただいたのですが、何か質問等ございますか。特によろしいでしょうか。

どうもありがとうございました。

最後に、委員からのお知らせなのです。中野さん、よろしく願います。

(中野委員)

第1部会の中野でございます。

先ほどガチャラリーの話をしました。皆さんにお配りしているチラシとポスターができました。出口の右側にそれぞれ封筒に入っておりますので、それぞれ皆さん、地元を持ち帰っていただいて、自治会の掲示板にポスターを貼るとか、役員会に配るとか、回覧するとか、いろいろな方法でPRをお願いしたいと思います。よろしく願います。

	<p>す。</p> <p>(議 長)</p> <p>ありがとうございます。 これで全て議事が終了しましたので、閉会とさせていただきます。</p>
県議・市議	5名
傍 聴 者	1名
報道機関	0社